

プロポーザル審査基準等

1 審査方法

書類及びプレゼンテーション・ヒアリングによる審査によることとし、事務局評価点数に、各審査委員が各企画に対して40点満点で採点した点数を加えた総合計点によりプロポーザルの順位を決定する。

【参考】審査委員 市民文化部長含む9人

2 審査項目 合計430点満点

(1) 事務局書類審査 70点満点

	項 目	配点
①	<p>本業務に適した同種・類似業務の実績があるか。(様式2関係)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A 同種業務</p> <p>a. 多文化共生事業</p> <p>b. 日本語教育事業</p> <p>c. 国際交流事業</p> <p>B 類似業務</p> <p>a. 地域交流事業</p> <p>b. 地域子育て支援拠点事業</p> <p>c. 在宅子育て親子に対する交流、相談支援事業</p> <p>d. 子どもの学習、居場所支援事業</p> <p>e. 学校・教育関連事業</p> <p>f. 通訳・翻訳業務</p> <p>g. 外国人向け労働相談・就職支援事業</p> </div>	<p>10点</p> <p>●同種業務…1件あたり5点</p> <p>●類似業務…1件あたり3点 (最高10点)</p>
②	<p>担当者に本業務に適した十分な経歴があり、その知識、ノウハウ、経験等を生かすことが期待できるか。(様式3関係)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>a. 資格 …有効な資格(外国人支援コーディネーター、日本語教師、外国人雇用労務士、教員免許等) 1件につき1点</p> <p>b. 経験 …同種・類似事業に従事した 3年以上1点 5年以上2点</p> <p>c. 体制 …本業務に従事する担当者数(統括責任者を除く) 3人以上1点 4人以上2点</p> </div>	<p>10点</p> <p>【統括責任者】(a. b) ○資格・経験…最高2点</p> <p>【担当者】(a. b) ○資格・経験…1人につき最高3点 ※担当者のうち、上位2名までの点数を合計し、最高6点とする。</p> <p>【体制】(c) ○統括責任者を除く担当者数…最高2点</p>
③	<p>事業金額</p>	<p>50点</p> <p>全提案者のうち、最低見積金額を提示した提案者を50点とする。 2位以下については、(参加業者中最低見積額/各社見積額)×50点とする。(様式7関係) ※ 小数点以下切捨て</p>

(2) 選定会議審査 360 点満点 (5 点×8 項目×9 人=360 点)

審査項目	審査内容	配点
基本的事項 (公開)	委託事業に関する趣旨・目的を正しく理解し、次の内容について明確かつ具体的に記述されているか。 ① 多文化共生に関する基本的な知識を有しているか。 ② 外国人住人が抱える課題について理解し、課題解決に向けた方策が記述されているか。 ③ 個人情報の保護、漏洩防止等に必要な取り組みは具体的に記述されているか。	15 点 (5 点×3 項目)
事業の企画内容 (非公開)	業務委託仕様書に記載する目的、業務内容、実施事項等を踏まえ、下記の各事業について実効性を有した提案となっているか。 ① 外国人住民や地域の実情に即した居場所として機能や、参加を促す魅力ある企画かどうか ② オンラインを活用した学習・交流により、日本語学習の促進と参加者同士の交流が深まる企画かどうか ③ 多くの参加者が見込まれ、多文化共生の周知や意識啓発につながる企画かどうか ④ 対象者の主体性を大事にした支援方法について方策は考えられているか ⑤ 対象者のほか、地域住民も参加できる場として、地域コミュニティの醸成と多文化共生への理解の促進につながる企画かどうか	25 点 (5 点×5 項目)
合 計		40 点

### 3 採点基準

- 5 点：本業務の目的や発注者の意向をよく理解した上で、優れた提案がなされている
- 4 点：本業務の目的や発注者の意向をよく理解した上で、十分な提案がなされている
- 3 点：本業務の目的や発注者の意向を理解した上で、提案がなされている
- 2 点：本業務の目的や発注者の意向の理解内容が不足している
- 1 点：十分な提案がなされていない

### 4 その他

提案者が 1 者のみであった場合でも、審査基準に基づき審査を行う。